

(医療技術評価平成17年度厚生労働科学研究費補助金総合研究事業)  
「医療安全と質を保証する  
患者状態適応型パス統合化システム開発研究」

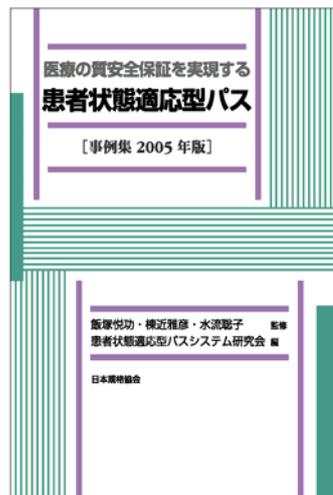
「患者状態適応型パスシステム設計構想シンポジウム」

ピー・キャプス  
PCAPS-IMT

( Patient Condition Adaptive Path System by Intelligence Modeling Technology )

日 時: 2005年11月5日(土) 13:00 ~ 17:00

会 場: 全社連研修センター



シ ン ポ ジ ウ ム 開 催 組 織

【企画・プログラム委員会】

飯塚 悦功 東京大学・大学院工学系研究科

横近 雅彦 早稲田大学理工学部経営システム工学科 水流 聡子 東京大学・大学院工学系研究科

『実行委員会』

段ノ上秀雄	東京大学・大学院工学系研究科飯塚研究室	塩飽 哲生	東京大学・大学院工学系研究科化学システム工学専攻博士課程
齋藤かほり	東京大学・大学院工学系研究科飯塚研究室	岸村 俊哉	東京大学・大学院工学系研究科化学システム工学専攻修士課程
小島 裕子	東京大学・大学院工学系研究科飯塚研究室	佐野 雅隆	早稲田大学大学院理工学研究科経営システム工学専攻修士課程
佐藤 典子	東京大学・大学院工学系研究科飯塚研究室	新田 純平	東京大学・大学院工学系研究科化学システム工学専攻修士課程
		下野 僚子	東京大学・大学院工学系研究科化学システム工学専攻修士課程

司会進行：棟近雅彦（早稲田大学）・水流聡子（東京大学）

13:00～13:10 主任研究者挨拶

飯塚悦功（東京大学）

13:10～14:10 第一部 PCAPS 研究が目指すもの

総論 PCAPS のめざすもの・全体構想・方針 飯塚悦功（東京大学）  
 各論 PCAPS 電子カルテ & 関連システム全体構想 水流聡子（東京大学）

14:10～15:10 第二部 PCAPS-Build によるパソコンテンツの作成

経過概要 櫃石秀信（株式会社神戸製鋼所 神鋼加古川病院）  
 PCAPS-Build による臨床プロセスチャートの作成 小西央郎（広島大学病院周産母子センター）  
 PCAPS コンテンツ作成方法の実際 吉田 茂（名古屋大学医学部附属病院）  
 質疑応答

【15:10～15:30 休憩】

15:30～16:00 第三部 講演

DPC の概要 - 特に病院マネジメントの視点から - 松田晋哉（産業医科大学）

16:00～17:00 第四部 DPC とその改善に関するパネルディスカッション

座 長： 飯塚悦功（東京大学）  
 パネリスト： 松田晋哉（産業医科大学）・伊藤雅治（全国社会保険協会連合会）  
 齋藤寿一（社会保険中央総合病院）・飛永晃二（健康保険諫早総合病院）  
 永井庸次（株式会社日立製作所水戸総合病院）

パネル討論でお伝えしたい内容：

PCAPS は DPC と親和性が高いと再認識しております。  
 PCAPS は、プロセスで質と効率を作り込むことによって優れた臨床結果を得ようとするモデルですから、それが賢く設計されているなら、本来あるべき DPC と親和性が高いのは当然かもしれません。  
 DPC 導入の名のもとに、日本人特有の、それが何であれとにかくどう対応するかという他律的な対応、あるいはダメだダメのみので打開策を提示しない批評家など、真っ当な議論が進展しにくいなかで、1時間という短い時間ですが、DPC に関わる本質的な課題の認識を共有し、本来あるべき DPC に向けてある種の方向性を指し示したいと考えています。